

けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2021.6 VOL.106



一般社団法人
茨城県建築士会
<http://i-shikai.com>



けんちく茨城

2021.6.7 第106号

page	目次
01	令和3年度 通常総会開催される
04	建築作品紹介 笑顔がこだまする幼稚園 あづま幼稚園
06	ようこそフレッシュマン／Welcome Freshman!!
08	先輩会員をたずねて
	支部活動報告
10	筑波支部 おにぎりともみじ鍋で春の宝篋山を満喫
11	つくばを知ろう!楽しもう!地域参加型マルシェ 市 (ICHI)
12	筑波支部ホームページ開設にあたって
13	県央支部 第103回 建築セミナーのご案内 (Web公開) 「愛され続ける環境と一体のすまい」
	委員会活動報告
14	青年委員会 令和3年度関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 (茨城大会)
18	女性委員会 ラブアークセミナー 「2月ラブアークセミナー「企画会」」
19	わくわくセミナー 「わくわくセミナー企画会&新年会」 「Zoomのあれこれ～初心者から主催者側まで～」
21	ILALネットワーク 「女性建築士が活動する建築士会女性委員会の紹介」
22	「女性委員会の活動について」
23	「Zoomを通して思うこと…」
24	令和2年度 各セミナー報告【わくわくセミナー・ラブアークセミナー】
26	令和3年度 女性委員会セミナー年間スケジュール

題字 大井川 和彦 茨城県知事
表紙 笑顔がこだまする幼稚園 あづま幼稚園
設計・監理 株式会社 andHAND建築設計事務所

発行 令和3年6月7日
次回 令和3年10月5日予定
部数 2,200部
発行 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330
E-mail kyy05413@nifty.com



編集 情報・広報委員会
川又 晴彦 中山 和朗 児玉 欽司 成田 孝成
大山 早嗣 武居 公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜
塙 万治 軽部 守彦 沢畑 一成 山田 一博
中村 正明 谷島 正憲

デザイン・印刷 株式会社 高野高速印刷



令和3年度 通常総会開催される

令和3年5月28日(金) 午後2時
水戸プラザホテル
報告：総務・企画委員会

令和3年度の通常総会（第70回）が5月28日(金)水戸プラザホテルにおいて開催された。今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、会員の皆様の健康と安全を考慮して極力広い会場において3密対策を徹底して開催した。

開会に先立ち、出席者と委任状提出者を合わせ594名となり、定足数に達していることが司会者より報告され、高槻副会長による開会のことばで通常総会が始まった。最初に令和2年度中に亡くなられた土浦支部入江幸子氏他8名に対し黙祷が行なわれ、続いて柴会長の挨拶。

続いて会員増加表彰が贈られ、優良支部として桜川支部他2支部へ、また個人としてJR水戸支部の諸川博幸氏に、さらに長年にわたり本会発展にご尽力頂いた坂東支部鈴木光與志氏他14名に記念品を添え表彰状が贈られた。

祝電披露の後、柴会長を議長とし議事に入り、令和2年度事業報告と収支決算、令和3年度事業計画(案)と収支予算(案)の他、理事・監事の辞任に伴う後任者の選任についての5議案を審議し、すべて原案通り全会一致で可決され、最後に武村副会長の閉会のことばにより閉会となった。

・令和2年度における会員物故者（9名）

□物故者（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

古河さしま支部	市村 弘仲	ひたちなか支部	清水 正行
古河さしま支部	加藤 誠洋	県央支部	綿引 誠
古河さしま支部	塚越由美子	筑波支部	平間伊佐男
筑西支部	大島 一恭	土浦支部	入江 幸子
筑西支部	上遠野公一		

敬称略

・令和3年度 表彰者一覧

(1)会員増加優良支部（3支部）

北茨城支部 桜川支部 稲敷支部

(2)会員増加優良者表彰（1名）

JR水戸支部 諸川 博幸

(3)功労者表彰（15名）

久慈支部	渡辺 聡	市川 浩之
高萩支部	藤田 泉	
日立支部	篠原 良	
ひたちなか支部	富山 則雄	雨澤 和彦
県央支部	平沼 清美	
行方支部	久米 秀男	六笠 勝也 本宮 秀壽
下妻支部	霜村 修	
筑西支部	平入 彰	谷島 正憲
坂東支部	鈴木光與志	
石岡支部	猪野 勝美	

令和3年度通常総会来賓者一覧

茨城県知事	大井川 和彦	
衆議院議員	田所 嘉徳	建築士会顧問
水戸市長	高橋 靖	建築士会顧問
茨城県議会議員	白田 信夫	建築士会顧問
茨城県議会議員	伊沢 勝徳	建築士会顧問
茨城県議会議員	塚本 一也	筑波支部会員



大井川 和彦
茨城県知事



田所 嘉徳
衆議院議員



高橋 靖
水戸市長



白田 信夫
茨城県議会議員



伊沢 勝徳
茨城県議会議員



塚本 一也
茨城県議会議員

令和3年度事業計画

□基本方針

二級建築士・木造建築士の登録事務を担う「茨城県指定登録機関」として、新たな建築士制度に対応して一級建築士の登録事務と併せ適切に遂行するとともに、その建築士制度の下、建築士の資質と品位の保持および技術の向上並びに建築文化の保全推進に寄与する。

また、建築行政、関係団体との協力体制の維持並びに地域貢献活動を実施し、公益法人として地域社会の健全な発展に一層寄与することを基本とする。

□事業内容

◇建築士の資質と品位の保持・向上に関する事業

1. 建築士法第22条第2項による「定期講習」の実施
2. 知事指定講習「建築士会技術講習会」の実施
3. 既存住宅状況調査技術者、監理技術者講習の実施
4. 継続能力開発（CPD）制度及び専攻建築士制度の推進
5. 建築士のスキルアップに関する研修・講習会の実施

◇建築士制度等に関する事業

1. 一級建築士及び二級・木造建築士登録事務の実施
2. 建築士試験業務の受託

◇会員の指導・連絡等に関する事業

1. 会員増強運動の実施
2. 会員相互並びに支部との連携強化
3. 会報誌「けんちく茨城」の発刊
4. ホームページ、Eメール、SNS等の活用による情報発信の推進
5. 創立70周年記念事業の実施と記念誌の作成
6. 女性部創立30周年記念事業の実施

◇地域貢献活動に関する事業

1. 市町村の空き家対策事業への支援
2. 既存住宅状況調査技術者の業務拡大への支援
3. まちづくり事業及び地域貢献活動の実施
4. 緑化推進事業（苗木配布）の推進

◇建築行政との連携に関する事業

1. 建築パトロールの実施
2. 応急危険度判定士の更新及び登録事務の実施
3. 災害発生時の支援体制の充実
4. 全国被災建築物応急危険度判定協議会への協力
5. 茨城県安全安心実施計画への協力
6. 木造住宅耐震診断士派遣事業の実施
7. 行政機関及び関係団体との協力体制の維持

◇業務支援に関する事業

1. 建築確認申請・建築許可・都市計画法関係諸書式の領布
2. 建築士受験関係図書及び建築関係書籍の販売

◇連合会等との連携に関する事業

1. 建築士会全国大会「広島大会」への参加促進
2. 関東甲信越建築士会ブロック会青年協議会「茨城大会」の開催
3. 全国女性建築士連絡協議会「福岡大会」への参加促進
4. 建築士賠償・工事賠償責任補償制度への加入促進

◇調査・研究に関する事業

1. 歴史的建造物調査の支援
2. 建築士業務の適正運営の推進
3. 新規事業の企画・立案

◇福利増進・その他の事業

1. 国家褒章・連合会表彰等の上申及び功労者表彰の実施
2. 慶弔見舞金の給付
3. 会員レクリエーションの実施
4. その他目的達成のために必要な事業の実施

なお、理事・監事の辞任に伴う後任者の選任については、理事・監事の辞任に伴い、定款第23条の規定により、後任者の選任を行った。なお、今総会において選任された理事・監事の任期は、定款第26条第1項に規定に関わらず前任者の残任期間となる。

- ①新理事 山田陽一氏（県庁支部）と、
- ②新監事 小沼紀男氏（県庁支部）を承認した。



高橋商事株式会社

代表取締役 高橋 正光

■本 社

〒311-1115 茨城県水戸市大串町952-4番地
TEL.(029) 269-3066 (代) FAX.(029) 269-4130

■営業所 大洗インター SS (LPG 事業所)

〒311-1115 茨城県水戸市大串町957-1番地
TEL.(029) 269-2135 FAX.(029) 269-5577

営業御案内

工事部

- ・上・下水道工事設計施工
- ・給排水衛生空調設備工事設計施工
- ・合併処理浄化槽工事設計施工
- ・機械器具設置工事設計施工
- ・土木・舗装工事設計施工

石油部

- ・石油製品販売
昭和シェル石油(株)販売店
- ・各種損害保険取扱
(株)損保ジャパン代理店

LPG部

- ・LPガス販売
- ・ガス関連商品販売
- ・ガス設備工事設計施工



小規模保育園ソシエルみどりの

andHAND®

株式会社andHAND建築設計事務所

代表取締役 飯島 洋省

www.andhand.co.jp

〒305-0033 Tel・Fax029-855-3055

茨城県つくば市東新井29番地13



笑顔がこだまする幼稚園 あづま幼稚園

建築作品紹介

築約40年の幼稚園建て替えプロジェクトです。「五感が働く園舎(見たい・聴きたい・触りたい・味わいたい・嗅ぎたい)」にしたいという園長先生、副園長先生の思いをかたちにしました。

子ども目線で寄り添い、第二の家でもあり、温かみのある懐かしさをテーマに、園舎から広がる園庭や木々や空などの外部環境も、建築の一部としてとらえた自然と一体感のある光溢れる幼稚園です。

また、建築をつくる先にある「つかう楽しみを子どもたちに感じてほしい」という思いから、心に刻まれ、未来に残していく建物を一緒に築いていくため、「余白」を大切に空間デザインとし、子どもたちがその「余白」を埋めていくことで、彩りをまとい完成形となるような計画としています。

□空間の構成

地域との調和をとりながら、開かれた幼稚園を目指し、切妻屋根が連なる建物を、曲線を描く繋がれた屋根のある「そとの廊下」が一体感を演出しています。

屋根のある「そとの廊下」は、園庭と園舎、保育ゾーン・事務・管理ゾーン・遊戯室をつなぐだけでなく、子どもたちがワクワクする仕掛けのひとつでもあります。

「園庭」→「そとの廊下」→「多目的な通路」→「保育室」が有機的につながり、それぞれの活動がお互いのスペースにはみ出しながら、多様な用途に対応

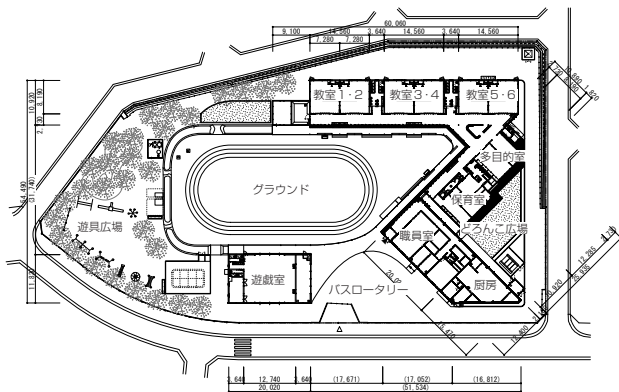
した構成としています。

子どもたちが自由に走り回れる多目的な通路の交点に位置するスペースには、天井の高い「絵本コーナー」を配置し、そこにはハイサイドライトを設け、自然の光と風を感じる中で、落ち着いて本を読める場を設定しています。

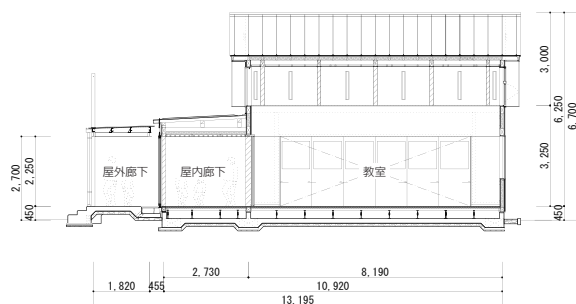
遊戯室は木造でありながら、天井にはステージに向かって約13mの登り梁をかけ、木壁と窓の抜けが作り出す空間は、建物にいながらも空と外とのつながりを、より感じる事ができます。

また、管理面では、正門からの来園者や、保育室、園庭、遊戯室が見渡せる位置に職員室を配置し、子どもたちの安全だけでなく、ここでの先生が働きやすい環境づくりも試みています。本園は、0歳～5歳までの子どもが使用するため、体の大きさだけでなく、行動範囲や行動時間も違う園児たちが同じ園舎で過ごせるよう、保育室の配置だけでなく、普段

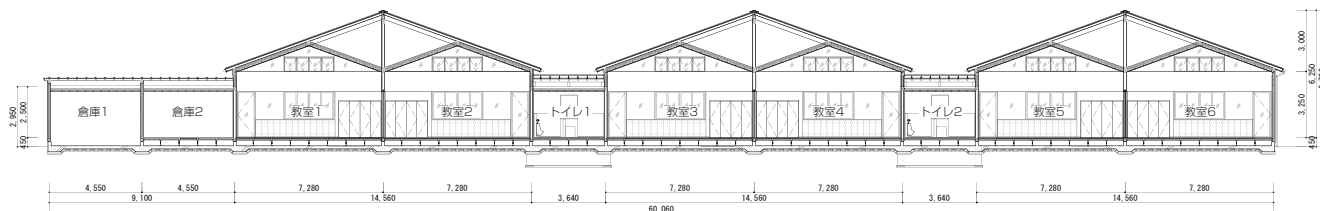




配置・平面図



断面図 1



断面図 2

■建物概要／笑顔がこだまする幼稚園 あづま幼稚園

- 所在地 茨城県取手市ゆめみ野4丁目22番地1
- 設計・監理 株式会社 andHAND建築設計事務所
- 建物用途 幼稚園
- 敷地面積 7,025.20㎡
- 建築面積 1,716.46㎡
- 延床面積 1,575.24㎡
- 構造・規模 木造 一部 鉄骨造

の先生の動線や、給食の配膳時の動線など細やかな部分にも配慮しました。

□配置計画と工事手順

計画当初より、建て替えによる子どもたちの負担をなるべく軽減できるよう既存の園舎を利用しながらの建築計画を進めました。

新園舎の建設→夏休み期間中の引っ越し→旧園舎の解体、そして秋には園庭での運動会が開催できるよう、グラウンド整備。子どもたちの園生活やスケジュールを視野に、ストレスがより少ない建築計画を心掛けています。

しかし、このプロセスをたどりながらも、完成形がこれまでの既存の園舎以上の魅力ある配置構成となるよう計画しています。

旧園舎では、送迎バスが園内に乗り入れる場所が園舎と分断されているため、降車後、一旦園舎横の庭に園児を待機させる必要があり、安全性への不安と、雨天時には傘など雨具の必要がありました。その問題点解消として、登降園時のより高い安全の確保と、園児のスムーズな保育室への出入りを検討。バス乗り場は、職員室からの視角と速やかな動線を確保できる位置とし、雨天時には、「その廊下」の屋根で、待機できるようにしました。そうすることで、バスの通行部分と園児の待機場所の分離を視覚的にも明確にすることができ、子どもたちは、雨天時でも雨に濡れることが少なく、スムーズな登降園が可能となりました。

□多様な活動

差し込む光、吹き抜ける風、木の香りだけでなく、時間や四季の移ろいを映し出す空や雲、長年この園を見守ってきた落葉樹であるシンボルツリーの葉や影などの自然を感じながら、この中で、子どもたちが実際に手や体を動かし、五感を使って考える中で、たくさんの発見ができる空間です。ここで自ら体験したことは、心に刻まれ確かな知識として学びの土台となるとともに、思い出深い施設となり、活動を通して、子どもと建築の距離が近いものとなっていただけたらと願います。

子どもたちが多様な体験を通し、四季を体感しながら、「笑顔がこだま」するように遊び周り、学びに集中できる「芽生えの場所」を創るプロジェクトとなりました。

代表取締役 飯島 洋省／株式会社andHAND建築設計事務所



Welcome Freshman!!



佐藤 和弥 38歳
支部名: 古河さしま支部

- ①佐藤 和弥 38歳 古河さしま支部
- ②25歳から設計事務所、工務店など建築関係の業務に従事してきました。現在は建築設計業務、各種申請業務を主な業務としています。
- ③古河市生まれの古河市育ち。現在も古河に在住しております。平成31年に古河市に事務所を設立し日々奮闘しております。皆様、どうぞよろしくお願い致します。
- ④建築士会での活動を通じて建築に関する知識を増やし、その知識を基に建築の知識や情報を必要としている方や地元へ貢献したいと考えております。また、同じ業種の先輩方との交流も楽しみです。
- ⑤地域貢献できる活動
- ⑥建築に関する知識を深め、その知識を活かし、人の役に立つことができる建築士になれるよう日々努力していきたい。

- ①菊地 秀男 60歳 土浦支部
- ②株式会社ネロ・デザイン 設計・工事部長
- ③この度、以前よりお世話になっております方のご紹介により土浦支部に入会させて頂く事となりました。どうぞ宜しくお願い致します。
- ④多くの方と交流を深め、見識を深められればと考えました。
- ⑤講習会や見学会にも参加させて頂ければと思います。
- ⑥小修繕からリノベーション・新築と幅広い工事に係わっておりますが、工事の大小に拘わらず常にお客様に喜ばれる事を第一に細やかな配慮を持って仕事に向かっていければと思います。



菊地 秀男 60歳
支部名: 土浦支部

< 防災・通信・電気・セキュリティー >

 **MBT**
ミナト防災通信工業株式会社

~ MINATO BOUSAI CO.LTD SINCE 1974 ~

www.minatobousai.co.jp

- | | |
|--------|----------------------|
| ①氏名・支部 | ④入会の目的 |
| ②勤務先 | ⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動 |
| ③自己紹介 | ⑥建築士として将来の目標 |



遠藤 未希 30歳
支部名：県庁支部

- ①遠藤 未希 30歳 県庁支部
- ②茨城県庁 土木部検査指導課
- ③この度、入会させていただきました遠藤と申します。よろしくお願ひいたします。
- ④講習会などに参加し知識や能力の向上及び交流を目的に入会しました。
- ⑤講習会、現場見学会など
- ⑥幅広い知識を習得し、様々な分野に精通する建築士になれるように、日々経験を積んでいきたいと思ひます。

- ①鎌田 俊喜 30歳 県央支部
- ②株式会社 根本建築設計事務所
- ③子供の頃から建築設計の仕事に携わることが夢でした。9年間建築設計監理の仕事に携わり、様々な知識が必要な建築の世界に今も魅了されております。どうぞよろしくお願ひいたします。
- ④会員の皆様とイベントや交流・講習会を通して、経験や知識を高められればと思ひます。
- ⑤講習会や見学会など参加させて頂きたいと思ひます。
- ⑥常に幅広い知識・経験を深め、地域に寄り添う建築士を目指したいと思ひます。



鎌田 俊喜 30歳
支部名：県央支部

創業330年の実績 安全・安心・快適な住空間をご提案



株式会社 奈良屋

代表取締役会長 市橋 弘光

代表取締役社長 市橋 薫

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町600-15

TEL029-241-5141 FAX.029-305-8733 <http://www.naraya-corp.co.jp>

先輩会員を訪ねて



「感性を磨く」

横須賀 満夫 氏 (県央支部)

昭和13年生まれ/昭和41年入会/会員歴55年

日本大学工学部卒業後、1969年神田神保町に(有)横須賀満夫建築設計事務所設立。

1971年水戸市に本拠地を移す。

私達を取り巻く建築技術や法律の変化進歩には驚かされます。「まちづくり」や「景観づくり」に関連するものも変化が多く、都市のスプロール化の反省から「コンパクトシティ化」、続いて2020年5月に成立した「スーパーシティ法」が具体的に動き出します。従来の「スマートシティ」ではなく「スーパーシティ」と銘打った新たな法律が出され、地方創生のあり方を変えようとしています。これらの大きな変化を否定するものではありません。ただ、若い人達には変化に迎合するだけでなく、人間が持つ本来の感性をビビットに育む事を忘れてはならない事を願っています。職場に入ってくる若手の提案を見ていると、コンセプトメーク等は上手ですがそれらを具体的な空間に落とし込むことが苦手ようです。何を意図しているのか、どこへ向いているのか全く形式的です。若いうちに皮膚感覚や感性を磨く事の大切さに気付いてもらいたいと思います。



「建築に携わって60余年を鑑みて」

菊池 積 氏 (日立支部)

昭和11年生まれ/昭和49年入会/会員歴47年

茨城県日立市生まれ。昭和34年高萩市役所を経て、昭和35年日立市市役所入所、建設部建築課に配属、建築指導課も経て平成8年退職する。当時の役所の公共建築物は戦後の木造建築物から耐火・耐震構造への転換期で、公営住宅、幼稚園や小中学校、保育園等の立替工事が盛んに行われていた、バブル期には3割以上の単価の見直し等で徹夜で処理をした事等思い浮かべられます。

退職後、日立市公園協会を経て(平成8年~11年)、平成11年~平成31年まで設計事務所営み83歳で廃業いたしました。

又、平成11年~平成28年まで(一般社団)茨城県建築士会にて、役員を勤めさせて頂き役所勤めとは違った、経験と勉強をさせて頂きました。又、まちづくり委員会での古民家の視察研修や日帰り研修等、その折には建築士会の皆様には大変お世話になりました誠に有難う御座いました。とても感謝しております。

建築士会、建築関係団体等は変わり行く今後の建築会の発展の為に重要な組織団体であります。今後の為にもご尽力とご繁栄を心よりお祈り致します。

83歳を迎え設計事務所を廃業後は、趣味として家庭菜園(自給自足)を営み草花、樹木、盆栽の手入れ等ですごし、又散歩では街中の建築現場などを見ながら工法の移り変わりを感じながら歩いております。

営業品目

(貯留式かんたん測溝)

コンクリート二次製品全般

函渠型側溝フリードレーン
大型積ブロック
浮上防止型グレーチング

公園資材

防災用かまど
防災用ベンチ
防災用シェルター
インターロッキングブロック
遊具一式

下水道用製品

耐震性スーパー BOX カルバート
アーチカルバート
ヒューム管カーブ用推進管
マンホール鉄蓋

建築資材

PHC パイル
地盤改良材

地下につくる水空間。

プラスチック貯留材

クロスウェーブ

クロスウェーブは雨水の
有効利用を提案します。

流出抑制

開発事業にともなう流出抑制調整池
区画整理や造成などの開発事業にともない、地下調整池の施工に活用し、雨水をその土地内で流出抑制します。

雨水利用

生活用水・工業用水・農業用水
生活雑水としては庭への散水や洗車用の水、トイレ洗浄水に、工業用水としては工場での利水に、農業用水としては作物への散水をはじめ洗浄水にも利用できます。

防火用水

防火水槽・防火備蓄用水
貯水量 40 トンクラスの防火水槽から、貯水量 1 万 m³クラスの大きな施設にも十分対応でき、震災時の緊急生活用水や消火用水としても備蓄できます。



汚染土の仮置場処理対策製品
土木建築資材の総合商社

株式会社 建友

代表取締役 根本 勇

専務取締役 根本 学

本社 茨城県水戸市吉沢町 333-4 電話 (029) 247-8405 (代表) FAX (029) 248-0155
支店 茨城県銚田市造谷 1529-99 電話 (0291) 37-1335 FAX (0291) 37-1335

E-mail:office@k-kenyu.co.jp



おにぎりともみじ鍋で春の宝篋山を満喫

■筑波支部 茂垣 直樹

令和3年3月20日(土)春分の日筑波支部青年委員会主催で「宝篋山トレッキングツアー」を開催しました。宝篋山(別名小田山)はつくば市北東部にある標高461メートルの山で通年通して様々な自然が楽しめます。登山口から約1時間30分の山頂からは、晴れた日には筑波山や霞ヶ浦を一望することができます。

今回は宝篋山の麓の小田で人・モノ・情報が集まる街のたまり場「TAMARIBAR」を営む支部会員の大類さんと奥様に食材の準備やコース選択などを企

画からご協力頂き、途中、宝篋山の歴史の話を交えながら、満開のコブシ、芽吹く木々や沢の流れを楽しみ、ゆっくりと山頂を目指しました。登頂後にはミツバツツジが満開の広場で参加者が手分けしながらもみじ鍋を調理し、おいしいおにぎりとおいしい鍋で日ごろの疲れを癒しました。

感染対策として、いくつかの班に分かれ、基本的にマスクを着用しながらの行程となりましたが、17名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。



地域参加型マルシェ「市(ICH I) in 栄」の開催を通して

■ 筑波支部 矢口 朋子

令和3年4月24・25日の2日間、つくば市栄地区にある長屋門を持つ古民家「塚本邸」にて“市(ICH I) in 栄”を開催しました。

この催しは、昨年行われた「つくばR8地域活性化プランコンペディション2020」にて筑波支部が提案した「桜川周辺市街地を食・農・暮らしをテーマに活性化しよう」という取組みの一部を実現させたものです。

地元のお店や特産物、自然や歴史、暮らしなどを紹介することで地域を活性化させ、そして最終的には地域が抱える空き家などの問題解消に繋がりたいという思いからスタートし、今回は栄にスポットを当ててその魅力を発信しようというこの取組みに、多くの地元飲食店や農家の方々、地域の皆さんが協力してくださり、企画段階から当日の開催まで一丸となって作り上げることが出来ました。

当日はアルコール消毒や検温、アマビエちゃんの活用など、万全のコロナ対策を講じることを徹底し、晴天の元、1,500人を超える来場者を迎えることが出来ました。

フードロス为主题にした記事を配布するなど、食・農・暮らしに密接に関わる環境問題にも焦点を当てた内容となり、コロナ禍による様々な規制の中ではありましたが、今回のICH Iを通して地域の魅力を伝えられたこと、また多方面の方々との連携を取って進められたことは、現在多くの地域が抱える様々な問題改善に、今後更に貢献することに繋がる可能性を持つと感じています。



筑波支部ホームページ開設にあたって

■ 筑波支部 松田 祐光



わたしたちは、一級建築士会茨城県支部です。
本県に唯一の建築士会組織である本支部は、つくば市とつくばみらい市を主たる活動地域とする建築士を中心とした組織です。
建築に関する分野としてセミナーや研修を通して会員が職業意識を高め、建築士としての責任や倫理の向上を図ることにより知識や技術の向上・再研を促し、新たな都市環境の形成に貢献することを目的として活動しています。

Welcome to The Tsukuba Branch of the Ibaraki Prefectural Association of Architects
The Tsukuba Branch of the Ibaraki Prefectural Association of Architects is an organization centered on architects working in Tsukuba City, Tsukubamirai City, and neighboring areas. As an organization involved in architecture, we aim to raise the professional awareness of our members through seminars and training, improve and share knowledge and skills by creating a place for members to interact and exchange information, and create and realize living spaces that meet new urban environments.



建築士が関わる産業においても、コロナ禍を機に、大きな転換期を迎え、私たちの暮らし、家族のカタチ、家族のあり方も含め働き方改革（ニューノーマル）が求められています。

「非接触」「遠隔」が必須要素とされるコロナ以降のニューノーマル時代においては、消費者のニーズや支部会員の意識も変化していくことでしょう。

筑波支部では、自治体、消費者および会員相互のコミュニケーションを活性化するため、ホームページ開設に踏み切ることとしたのは、2年前（コロナ禍前）のことです。

SDGs（持続可能な開発目標）は、自治体や学校教育を中心に、地域社会に広く浸透しつつあり、確実に定着していくものと考えられることから、

SDGsの概要を理解した上で、コンテンツをまとめることにしました。

SDGsに取り組むメリットとしては、持続性ある支部運用、消費者には質の高い技術・情報を提供し、地域の活性化等にも貢献するものであり、「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」にも通じるものと考え、会員（売り手）、消費者（買い手）、地域社会（世間）の視点から団体としてのブランドイメージが高められると考えています。

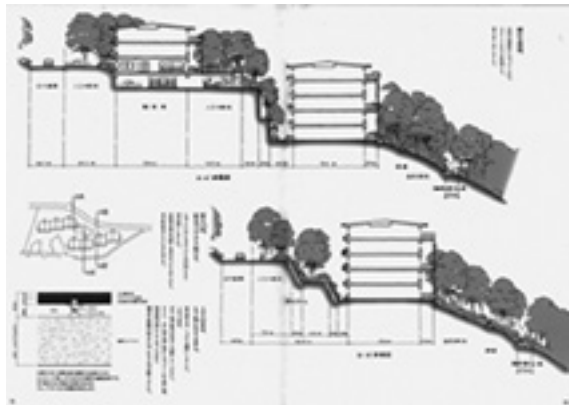
つくば市・つくばみらい市をはじめ、SDGs宣言を行う自治体のパートナーとして、地域社会の活性化に貢献することができたとしたならば望外の幸せであると考えます。

第103回建築セミナー 『愛され続ける環境と 一体のすまい』

コロナ禍の中、2回の開催延期を経て、4月21日県央支部で初めて完全リモートの建築セミナーを催しました。講師は高木雅行氏。経歴は以下の通りです。

1955年 6月 茨城県生まれ、幼少期に東京に移住
1979年 3月 工学院大学建築学科 卒業後研究生
1981年 6月 UIA1981ワルシャワ大会 大学院生コンペ
世界20大学と2段階コンペに参加しフランス賞受賞
1982年 3月 工学院大学大学院修士課程 修了
1982年 4月 株式会社SUM建築研究所※入所
1995年11月 一級建築士事務所 (有)アルキノーブ
設立、工学院大学の非常勤講師や、工学院大学
建築学系同窓会長(現職)を務める

※SUM建築研究所で師の井出共治先生(1940～2010年)と作り続けた環境と一体の住まいが25年以上の歳月を経て愛され続けている。その作品群はJIA25年賞他受賞、多くのそうした住まいの創りかたを、実例を通してお話しいただきました。



高木雅行さんのプレゼン能力や人を引き付ける指導性と行動力は、学生時代から有名だった。

学生ビジネスとして模型製作を多くの設計事務所から受注していた。お茶の水レモン画翠に模型パーツを納品していた。SUM建築研究所に模型を依頼され、師の井出共治先生に請われるまま入所された。

SUM建築研究所に入所後「百合ヶ丘ビレッジ」「平塚ガーデンホームズ」「ヒルサイド久末」「HOME'S20」「ヒルサイドテラス平山城址」などの設計を担当した。

今回、常々井出所長より話されたキーワードを通して建築に対しての考えをお話します。建物の事例は以下の事例でお話します。

- 平塚ガーデンホームズ
- 百合ヶ丘ビレッジ
- ヒルサイド久末
- ヒルサイドテラス平山城址

井出共治所長について。

皆様、ご存じない方がほとんどだと思いますので概



略以下のようにご紹介します。1940年雑司ヶ谷生まれ、2010年享年70歳。幼少期は疎開で佐久平に移り住み、八ヶ岳、浅間山に囲まれ、千曲川の流れる自然の中で育つ。建築家になるか、オーケストラの指揮者になるか悩み、建築家を目指す。東洋大学工学部建築学科卒業後、東北大学建築学科亀井研究室、伊藤喜三郎建築研究所を経て、1966年から東京大学工学部建築学科内田研究室に研究員として在籍。1972年、株式会社SUM建築研究所を設立。しかし仕事はなかった。転機となったのは1985年完成の集合住宅「ヒルサイド久末」。高低差27mの急斜面、ほとんどの不動産業者が事業は成立しないと判断した敷地だったが、大方の予想を大きく覆し7倍の競争率で完売させた。この成功により危険、あるいは町の環境を害している斜面地を有効に活用した数々のプロジェクトを手掛けることとなり「斜面の魔術師」と呼ばれるようになる。その手腕を買われ、山の多い日本において土砂災害を減らす対策のひとつとして旧建設省(現国土交通省)が傾斜地開発手法の研究「急傾斜地保全型中高層住宅のプロトタイプ開発」をまとめる際、この研究を主導する。

その後、胃動脈を使ったバイパス手術を行い、国際的に評価を受けている心臓外科医、須磨久善と出会い、神奈川県三浦郡葉山町の斜面地に心臓病の専門病院の設計を手掛ける。心臓専門病院「葉山ハートセンター」は2000年グッドデザイン賞金賞(建築環境デザイン部門)と、2001年医療福祉建築賞を受賞する。2004年には、湯河原のリゾートマンション「水明荘」で2度目となるグッドデザイン賞を受賞。2012年には、神奈川県ゆりが丘のマンション「百合ヶ丘ヴィレッジ」で日本建築家協会25年賞を受賞。2013年には、神奈川県川崎市

高津区のマンション「ヒルサイド久末」で日本建築家協会25年賞を受賞。2015年には、神奈川県横浜市上星川のマンション「HOME'S20」で日本建築家協会25年建築選。2018年には、東京都八王子市のマンション「ヒルサイドテラス平山城址」で日本建築家協会25年建築選。2020年には、神奈川県平塚市のマンション「平塚ガーデンホームズ」で日本建築家協会25年建築選。

今回のリモート開催でスタッフ一同は多くのことを学んだ。Zoomによる、ビデオも収録も果たすことができ、今後、県央支部の建築セミナーはすべてアーカイブとして、保存していくことを考えております。





第1分科会集合写真

令和3年度関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会(茨城大会)

茨城大会は2020年東京オリンピック年度の開催として2018年より企画、準備されてきました。

ところが2020年初頭より始まったコロナウィルスの影響により、開催3か月前に中止が決定いたしました。これまで関わってきた県内外の多くの人々のご協力、ご尽力のもと、時間は掛かりましたが茨城大会中止ではなく、1年スライドによる延期開催と

いう結果にたどり着くことができました。大会準備含めご尽力頂いた多くの方々へ心より感謝申し上げます。

当初我々、青年女性委員会が掲げていたテーマは「運動と建築」です。東京オリンピック年度であり、運動というアクション・ムーブメントという青年建築士の様々な活躍・動きに着目し企画してきました。

昨今のコロナ禍という予測できない社会状況になった現在において、我々が改めて掲げたテーマは

「UN→DOと建築」です。先行きの見えない状況を「UN」という否定の文字で表し、このような状況でも我々青年建築士に「何ができるのか、何かすべきだ、どうするんだ」という前に進もうとする気持ちを「DO」と表現し、「UN→DO」としました。





第2分科会集合写真

今できることは、コロナ禍前と比較してしまうと、とても少ないかもしれません。そのような状況においても「どうする?」という前に進む姿勢を示していく。ここに参加する多くの皆様で考え、共有し、それぞれが持ち帰って頂ける大会を目指しています。

茨城大会は初の完全リモート大会となります。各都県の発表も映像配信という形をとりこれまでにない大会となります。実行委員会メンバー含め多くの方が試行錯誤し、本番の6月19日に向けて全力で大会運営・準備を行っています。

皆様におかれましても積極的にご参加いただき、楽しみ、考え、議論し、持ち帰って頂く実りある大会となるよう実行委員一同お待ちしております。



UN→DO をみんなで考えよう！



様々なハードルを乗り越えなければいけない今、

「でどうした？」 「どうする？」

建築士として、この情勢にどのように向き合い、考え、前に向かってどうするのか。

2021
茨城大会

分科会各テーマ

◎第一分科会テーマ こんな時代だけ「どうする？」 活動報告

◎第二分科会テーマ こんな時代だけ「共有しよう」 BEN-TO と 建築

◎第三分科会テーマ こんな時代だけ「前へ進もう」 講演・ディスカッション

2021
茨城大会

運動と建築
UNDO AND ARCHITECTURE

U N D O A N D A R C H I T E C T U R E



令和 3 年度関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会

開催日 2021年6月19日(土)

10都県を繋ぐ完全リモート大会

主催 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会

共催 一般社団法人 茨城県建築士会 青年女性委員会

「2月ラブアークセミナー「企画会」」

■ひたちなか支部 浜中 本子

毎年、セミナーの企画は、新年会も兼ねて年初めに1年間のテーマと担当を決めています。おいしい料理を皆さんと堪能しながら、例年通り1月に企画会をする予定でしたが、感染症拡大防止のため行動が制限されることとなり、1年の予定を決める重要な事業ですので、対応に苦慮することとなりました。本来であれば女性会員全員に参加の可否をまず問うべきではありますが、昨年より延期になったセミナーもありますので、常々参加していただ

いるメンバーを中心にまとめさせていただきました。年間予定表はILALネットワークに掲載されます。現在、コロナ禍の状況は続いており、まだ収束には至っておりませんので再度、延期又は中止、内容変更の場合があります。不規則な状況となっておりますが、茨城県建築士会のHPをチェックいただきながら、こんな時だからこそ学べるがあるはずですので。感染対策をしながら一歩前に進んで行けたらと思います。



月	テーマ	担当	講師	講師名
1月	健康増進セミナー	小島 悠仁 藤原 裕子 金子 雅代	講演	講演
2月	防災・避難について	藤原 美子	講演	ひたちなか
3月	「子育て」～お話し～	高野 美子	講演	ひたちなか
4月	健康増進 実践によるセミナー	大島 美由紀	講演	ひたちなか
5月	お正月のインテリア	中野 美由紀	講演	ひたちなか
6月	お正月のインテリア	石原 洋子	講演	ひたちなか
7月	健康増進セミナー	金子 雅代 藤原 美子	講演	講演
8月	子育て～お話し～	藤原 美子	講演	講演
9月	健康増進セミナー	金子 雅代	講演	講演



LIXIL Link to Good Living

株式会社 LIXIL LIXIL HOUSING TECHNOLOGY JAPAN

ビル北関東支店 ビル茨城営業所 〒310-0044 茨城県水戸市西原1-1-20 TEL 029-224-6146
 茨城支店 水戸営業所 〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町857-2 5R2F TEL 029-307-4002

「わくわくセミナー企画会&新年会」

■土浦支部 西原 有希子

2021年1月22日、各自の自宅にて「わくわくセミナー企画会&新年会」を開催いたしました。

コロナ禍の中の開催という事であったので、zoomを利用し、かつ楽しく過ごしていただくためにお弁当を配布しての開催です。

勉強会、忘年会、新年会等リアルで接する会合は軒並み中止になっていたため、この企画だけでも開催したいと考えての開催でした。

しばらく、皆様にリアルでお会いしてなかったのですが、皆様それぞれ元気な顔を見ただけでもうれしく思いました。

企画に関しては、通常の勉強会であるような知識向上の為の勉強会に加え、コロナによって社会情勢が変わっていく中で、それぞれ生活や仕事上に必要だと考える事などの勉強会が加わりました。

通常の知識向上の為の勉強会としては長期的に検討する企画を持つ事について、建築改修・活用の為の建築

法規、オフィスの整理術、心の障害者の視点から見る、日本のバリアフリー建築の将来について考える。

コロナ禍ならではのzoomのあれこれ（初心者から主催者まで）、ウィルス対策と換気の今を学ぶ、オンライン展示会、オンラインピラティス。というような提案が出ました。

今年度も良い企画がたくさんでき、是非皆様にご参加いただければと思っております。



MATSUMOTO-SOUKEN

株式会社 **松本総建**

代表取締役会長 **松本 一幸**

— **特定建設業** —

茨城県知事許可（特-29）第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2
TEL 029-295-7715(代)
FAX 029-295-6548

本社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5
第一機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1
第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1

《 営業内容 》

■ 枠組足場工事
■ 建築土工事

■ 次世代式先行手摺足場工事
■ 足場提案企画

■ 鉄骨建方工事



「Zoomのあれこれ～初心者から主催者側まで～」

■土浦支部 赤木 香菜子



セミナー風景

令和3年4月21日(水)にoomについてのわくわくセミナーが開催されました。最初は、「ZoomでZoomの使い方を教えてもらうことは可能なのか?」と心配していましたが、普段からZoomの講習会を実施している講師の今井正文先生を紹介していただき、無事開催に至りました。

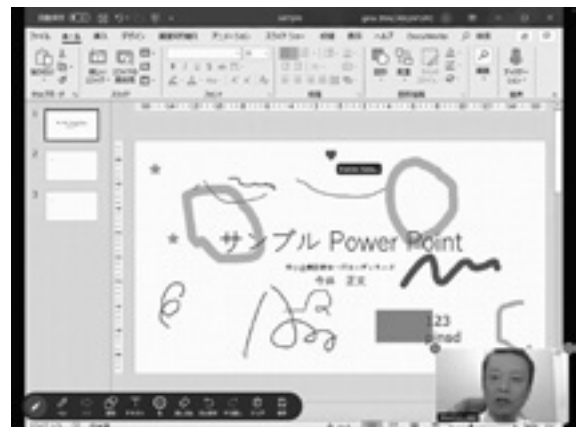
前半は、Zoomの基本的な機能の使い方を教えていただき、みんなで「バーチャル背景」を設定したり、「フィルター」や「スタジオエフェクト」で遊んでみたり、普段の会議やセミナーでは使ったことのない機能も試すことが出来ました。

後半は、「投票」で好きなおでんの具を決めたり、4人くらいのグループごとで話ができる「ブレイクアウトルーム」へ移動し、画面の「共有」を順番に実践したり、「ホワイトボード」に一斉に描いたり、自分が主催者側になった時にも使えるような機能を教えていただきました。

今回は、自分たちで実際にパソコンやタブレットを操作しながらの講習でしたので、こういった機能があるのか、より深く学びました。他の参加者の方々からも、「また同じような講習をやってほしい!」というような感想もいただき、とても良かったと思います。



音声が聞こえているかのチェック
(上段左から2番目が講師の先生)



共有画面への書き込み



(一社) 茨城県建築士会女性委員会



女性建築士が活動する建築士会女性委員会の紹介

WEB版「魅力ある和の空間ガイドブック」

人々のライフスタイルが変化する中で、地域の環境に適した伝統的な住まいに暮らす人々が減り続けています。なかでも 日本の住まいの中で培われた和室や縁側といった和の空間がなくなりつつあることが危惧されています。日本建築士会連合会女性委員会では「和の空間を体験して、その魅力を再認識できるような建築を紹介するガイドブック」を制作することとしました。このガイドブックは、都道府県ごとに数点ずつ選んで紹介しています



各都道府県の女性建築士が解説した
WEB版『魅力ある和の空間ガイドブック』
私たち茨城県では弘道館・坂野家住宅・荒川家住宅・
御料理屋 kokyū・矢中の杜を紹介しています！

日本建築士会連合会 女性委員会HP
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/jyosei-iinkai/index.html>



「女性委員会の活動について」

■女性委員会 小貫 弘巳

茨城県建築士会女性委員会では、建築士会に所属する女性建築士10名が女性委員会に所属し、委員会活動をおこなっています。昨年は多くの企画や大会がコロナ渦により中止となってしまいおもうような活動ができませんでしたが、毎年1月には、わくわくセミナー（県南）ラブアークセミナー（県央県北）「企画会&新年会」を開催して企画提案をおこない1年のセミナースケジュールを決めて、見学会やワークショップの開催、女性建築士連絡協議会への参加など多くの活動をおこなっています。

そして年に1～2回、各支部の活動報告や新女性会員・メンバーの紹介、次年度の年間スケジュールなどを掲載した「アイラルネットワーク広報誌」を建築士会女性会員に発行しています。



平成30年7月全建女



平成31年3月「竹細工ワークショップ」



令和元年5月「紙漉き体験」



令和元年5月「コイズミ照明見学会」



令和元年7月「武相荘見学」にて

現在の活動ですが、日本建築士会連合会女性委員会主催の「魅力ある和の空間ガイドブック（web版）茨城版」の制作を進めています。連合会女性委員会ではこのガイドブック制作の事業を通し、日本の住まいや和の空間や和の要素を改めてとらえ直し、今後の設計活動、居住環境づくりに活かしていただければと考えています。

ちなみに委員のメンバーですが、多才な方が多く趣味も豊富で、建築設計、設計施工、不動産、前年度は庭園設計をされているメンバーも在席していました。建築士会、女性委員会の活動を通して、会員同士のコミュニケーションを図り、情報交換・いろいろな人とつながることで技術の向上・仕事の幅も広がっていくのかなと考えます。



「Zoomを通して思うこと…」

■土浦支部 小林 明江

令和2年11月19日に開催されました「福祉のまちづくり探訪オンラインセミナー」に初めて参加させて頂きました。セミナー形式がZoomによるオンライン形式でZoomという言葉はよく耳にしておりましたが私にとっては正直程遠い存在だと思い敬遠しておりました。

しかしこのコロナ禍においては3密を避けるためZoomによるオンラインセミナーや会議は必要不可欠であり、今回は土浦支部の赤木裕子さんにお誘いいただき、赤木香菜子さんのご指導の下、初めて参加いたしました。

初めてのオンラインセミナーは思っていた程は難しくなく、画面を通じて皆様と同じセミナーを受けて質問や意見交換ができることにとっても感動しました。2回目の参加は女性委員会のZoom会議にて、小貫委員長より操作方法等のご指導を頂きながら参加させて頂きました。

画面での会議でも皆様が身近に感じました。又、

回を重ねるたびにZoom会議に対する不安も少しずつ無くなっていきました。

Zoom会議による経験は今となっては仕事でも生かせるようになり、遠方の方との打ち合わせに役立っています。生きていく中で何でも新しいことへのチャレンジは必要であることをコロナ禍で日々感じるようになりました。今回ご指導頂きながら参加でき本当に良かったと思っています。おそらく誘っていただいていたなければ今でもZoomは程遠い存在だったと思います。

まだオンラインセミナーや会議に参加されていない方はぜひ参加してみてください。年を重ねると新しいことへのチャレンジは面倒になりがちですが、やはり何歳になっても新しいことへのチャレンジは自分をパワーアップさせ、生きる喜びにもつながります。私もこれを機に新しいことへチャレンジをし続けようと思います。

令和2年度 各セミナー報告

【わくわくセミナー・ラブアークセミナー】

わくわくセミナー7月 「電気契約5アンペアで暮らす」



開催：令和2年7月30日（土浦市三中地区公民館）
内容：節電をしながら、快適に楽しく暮らす工夫を学ぶ

【感想】

「契約電力5Aで暮らす事出来ますか？」と思いながら参加しました。具体的な方法と生活形態を伺って「考えながら生活する」という事なんですね！と思いました。みんなが5Aで暮らすではなく10A下げて暮らしましょう！というお話に説得力がありました。
◆コロナ禍での開催ということで、参加者には手指の消毒、マスク着用をお願いし、座席も間隔を空けて着席してもらった。視聴覚室は飲食禁止だったため飲み物は、休憩時間に配布し、部屋の外で飲んでもらうようにした。

わくわくセミナー8月 「雨漏りの実例と対処方法」



開催：令和2年8月27日（土浦市三中地区公民館）
内容：講師の体験による事例の紹介とその対処方法を、画像を見ながら学ぶ

【感想】

長年の経験から施工事例や防水屋さんがどこまで対応できるのか、相談の仕方・設計上の注意点等、多岐にわたり説明して下さいとても分かり易く、大変勉強になりました。
◆コロナ禍での開催ということで、参加者には手指の消毒やマスク着用をお願いし、座席も間隔を空けて着席してもらった。視聴覚室は飲食禁止だったため、飲み物は、休憩時間に配布し、部屋の外で飲んでもらうようにした。

わくわくセミナー9月 「田んぼに家をたてる」



開催：令和2年9月24日（土浦市三中地区公民館）
内容：田んぼに家をたてる場合についてのノウハウを学ぶ

【感想】

今回は本気で農家を営んでいらっしゃる工務店の社長さんが講師ということで、田んぼの特徴から気をつける点や見極め方を詳しく教えてくださり、とても勉強になりました。後半は断熱材やシロアリ、ソーラーシステムの話などもあってとても面白かったです。
◆コロナ禍での開催ということで、参加者には手指の消毒やマスク着用をお願いし、座席も間隔を空けて着席してもらった。視聴覚室は飲食禁止だったため、飲み物は、休憩時間に配布し、部屋の外で飲んでもらうようにした。

わくわくセミナー11月 「ZEH基準の自社選定からそのメリットを伝える方法」



開催：令和2年11月27日（土浦市三中地区公民館）
内容：ZEHに関する情報と資料をもとに、良質な住環境を考える

【感想】

ZEHの現状やZEHに役立つソフトの活用について学ぶことができました。
◆コロナ禍での開催ということで、参加者には手指の消毒やマスク着用をお願いし、座席も間隔を空けて着席してもらった。
◆活動の背景…建築士会員の業務の進歩改善と建築士の品位の保持、向上を図り、建築文化の進展に資するために勉強会が必要である。

ラブアークセミナー9月 「明日からできる!整理収納セミナー」



開催：令和2年9月29日（茨城県総合福祉会館）
内容：「整理・整頓・収納・片付け」の理論、方法を学び、実生活や設計実務に取り入れたい

【感想】

コロナ禍のなか少人数での開催となりましたが、整理整頓、片付け、収納手順、コツを学ぶことが出来たセミナーになりました。シンキングタイムを設けることで参加者が自分の理想の暮らしを改めて考えるきっかけになり、整理整頓、片付けのモチベーションが高められたのではないのでしょうか。意見交換もでき、受け身ではない参加型のセミナーになったと思う。

ラブアークセミナー12月 「ヒンメリワークショップ」



開催：令和2年12月1日（茨城県総合福祉会館）
内容：ヒンメリづくりを通して、会員、会員家族の親睦を図るとともに一般の参加者にも建築士会を周知してもらう機会の場をつくる

【感想】

コロナ禍の中で開催出来るのか大変心配でありましたが、十分に感染対策を取り、無事に開催できたことを嬉しく思います。

北欧の飾りもの～ゆれると願いが叶うという言い伝えのあるヒンメリ… ということでこんな時だからこそ、時を忘れて夢中で制作し、出来上がった自らの作品を眺め皆さん満足気な笑顔。参加人数は少なかったものの帰際には皆さんとても楽しかった！と喜んで下さり、準備した担当としても大変嬉しかったです。

また、皆さんに喜んでいただける企画を考えたいと励みになりました。

「わくわくセミナー企画会&新年会」

令和3年1月



開催：令和3年1月22日（各自の自宅～ZOOM利用～）
内容：品位、知識向上の為の勉強会を検討・企画する

【感想】

コロナの影響で様々な企画が途切れ、人のつながりが薄くなっていたので、絶対に実行できるように企画いたしました。企画が実行できず会員の皆様がどんなことを考え、どの様にすごしているのかを垣間見ることが出来、実際に会う事が無くても勉強する意欲や人とのつながることの大切さを再確認することが出来ました。

事前に選んだテイクアウト弁当を食べながらの企画会&新年会になりました



まる環 弁当



EAST BASE 弁当

令和3年度 女性委員会セミナー年間スケジュール

月	***わくわくセミナー***		***ラブアークセミナー***	
	テーマ	担当者	テーマ	担当者
4	zoomのあれこれ～初心者から主催者側まで～	赤木香菜子		
5	オフィスの整理術	赤木 裕子		
6	ウィルス対策と換気の今を学ぶ	若柳 綾子		
関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会 茨城大会：6/19オンライン開催				
7	建築改修・活用のための建築法規	江ヶ崎雅代 西原有希子	水戸市埋蔵文化財セミナー	金子 雅代 小貫 弘巳 篠根 玲子
8	休み			
9	千葉県建築士会会員に (長期企画の) 活動を聞く	橋本 珠美	防災食・備蓄について いざという時家庭内にあるもので!	桑原 文子 浜中 本子
第30回 全国女性建築士連絡協議会 福岡大会 ※開催月未定				
10	心の障害者の視点から見る、日本のバリアフリー建築の将来について考える	沖山 素子	『手刻み』への思い 現場見学会 (状況によりオンライン)	大谷美由紀 長山 智子
11	オンライン展示会	久保田綾子 平島かよ子	めざせDIY女子! OSBボードで作るカタログラック	平沼 清美 石黒 洋子
1	わくわくセミナー 企画会&新年会	和田 知子 西原有希子	ラブアークセミナー 企画会&新年会	浅子 明美 飛田 直身
2	オンラインピラティス	富田 順子	コーヒーとインテリアと庭 サザコーヒー (状況によりオンライン)	轡田 久恵 佐藤 朋子 近藤あすか

[女性委員会からのお知らせ]

- ★新型コロナウイルスの状況により、セミナーが中止又は延期になる場合があります。
- ★セミナーの内容、開催月は変更になることがありますのでご了承ください。
- ★各セミナーのお知らせは、毎月の建築士会の発送物に同封されます。
また、建築士会のホームページなどでもご覧になれます。
- ★事務局連絡先：(一社) 茨城県建築士会

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2階

E-mail : kyy05413@nifty.com

TEL : 029-305-0329 FAX : 029-305-0330



空気調和・衛生設備・設計施工

〈最適環境を提供する〉



清和工業株式会社

代表取締役 岡 衆司

本社 ■水戸市東野町140-4 TEL029-248-2413

日立営業所 ■日立市東多賀町2-10-40 TEL0294-36-0481

土浦営業所 ■土浦市中貫1911 TEL029-832-4780

<http://www.seiwakogyo-web.co.jp>

一級建築士事務所

川又晴彦建築設計事務所

茨城県建築士会ひたちなか支部支部長 川又 晴彦

〒312-0003

茨城県ひたちなか市足崎1302-30

TEL : 029-219-6226 FAX : 029-219-6227

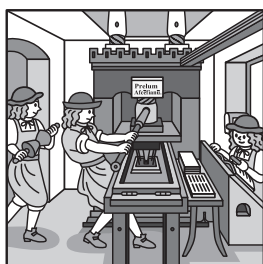
建築塗装・防水工事・広告看板

熱を消す不思議なハイブリッド塗料 「**熱交換塗料・タフコート**」

暑さ・ECO(電気料金の削減)対策!・炎天下のアスファルト・プールサイドも素足で歩ける

株式会社 タケイ・アーツ

■ TEL 0299-23-1738 ■ FAX 0299-24-2552 ■



16世紀の印刷風景

印刷機は
ぶどうのしぼり機から
始まりました。

あなたの“ひらめき”に
確かな技術でお応えします。

- ◎ 総合印刷 企画・デザイン
大判カラー出力
オンデマンド印刷
マルチメディアコンテンツ
シール・ステッカー、フィルム製品
CD・DVDプレス、コピー
販促・ノベルティ・各種名入れ製品 など

- ◎ 電子書籍(EPUBイーパブ)、電子ブック、PDF作成
カタログ、チラシ、パンフ、冊子、紙資料、フィルム、その他

その他、お気軽にご相談ください。

 株式会社 **高野高速印刷**
<http://www.takano-kousoku.co.jp>

平須工場《営業本部／製造本部》
〒310-0853 茨城県水戸市平須町1822-122
TEL. 029-305-5588 FAX. 029-305-5533
<http://www.takano-kousoku.co.jp> e-mail tki@atlas.plata.or.jp

高野高速印刷

検索



信頼と安心の住まいを目指す



すまいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。

迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

- ☆ 『WEB申請』をご利用ください。
- ☆ 当センターのご利用の多いお客様には『建築確認手数料の後納制度』があります。
- ☆ 『レターパック等にて確認申請』を受付けております。

確認引受書と併せて新しいレターパックを返却させていただきます。

- 本部事務所（水戸市） 〒310-0852
茨城県水戸市笠原町978番30
TEL 029-305-7300 FAX 029-305-7310
- 県南事務所（つくば市） 〒300-2655
茨城県つくば市島名2920番地
（万博公園西F28街区6）
TEL 029-886-3211 FAX 029-886-3212
- 県西事務所（古河市） 〒306-0125
茨城県古河市仁連1921番地4
TEL 0280-75-2600 FAX 0280-75-2603

県南事務所は
4月12日移転しました





設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222 [代]

FAX.029-231-0960



一般社団法人
茨城県建築士会

